

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 8年 1月 19日

胎内市議会議長

八幡元弘様

(報告者)

総務文教常任委員会

委員長 笥智也

総務文教常任委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 8年 1月 14日 至 令和 年 月 日 泊 日 (1日間)	調査・研修 場所	・全員協議会室 ・産業文化会館
調査・研修 事項	地域みらい留学の現況について 中条高校地域アカデミー発表会について		
調査・研修 出席者(参加者)	委員長 笥智也 副委員長 坂上清一 丸山孝博 渡辺宏行 天木義人 渡辺栄六 小野徳重 羽田野孝子 佐藤武志 渡辺雅茂		
相手方(対応者)	中条高校 教職員及び生徒		

調査の結果または概要

全員協議会室にて、次年度開始予定の「地域みらい留学」について、希望者の現在の状況について報告があり、委員各位で共有し、その後、産業文化会館多目的ホールにおいて、「中条高校地域アカデミー発表会」を拝聴した。

中条高校地域アカデミーは、「胎内市をフィールドとして地域と共に中条高校生を育てるプログラム」と銘打って取り組んでいる中条高校独自の探究学習の取り組みで、地元企業、地域の社会人や大学、胎内市と連携して地域学習を行いながら地域貢献活動を行う人材育成プログラムであり、昨年につき二回目となる今年度は「自ら問題を見つけ、課題を設定し、課題解決のための実践を行い、マイプロ新潟県発表会で成果発表を行う」活動となっている。

マイプロとは「NIIGATA マイプロジェクト☆LABO」の略称で、新潟県の中学生・高校生・大学生が“何かやってみたい！”という想いを形にするための実践型探究学習プログラムであり、ワークショップやイベントを通じて、社会人や先輩からのフィードバックを得ながら、主体性や創造性を育むことを目的としている。

4月上旬から取り組みが始まり、企画・フィールドワーク・実践ののち内部にて成果発表会を行い、振り返りや自己評価ののち再度実践し、再び成果発表会で代表の選出がなされ、26のグループから選ばれた6グループの企画がステージにて発表され、外部審査員による審査の結果、最優秀賞・審査員特別賞を各1グループが選出された。

ステージ発表終了後に、同施設の2階会議室・企画展示室にて、26グループすべての成果発表を確認することができた。

調査の所見・感想

少子化や高校学区制廃止に伴い生徒数減少に直面している中条高等学校が、文部科学省の補助事業を基盤とした県の「高校と地域との連携・協働体制構築事業」に採択され始まったものであり、生徒自身が考え体験することで、新たな疑問や課題解決に取り組む力を養うことができているとのこと。地域の企業や人と触れ合うなど様々な過程を通じて、学びを社会で活用する力を身に付けている。

企画内容によっては予算や法令など、様々な壁にあたる場合もあるようだが、企業・団体・大学等のメンター（指導者・助言者）の協力を仰ぎ実行されていた。

最優秀賞になった企画などは具現化され、地域の保安事業として警察からも表彰されており、生徒達の発想の豊かさとこのプログラムの実行の社会的有効性の高さが存分に示されていると感じた。各グループのプレゼンテーションを行う手法や姿勢にも工夫がなされており素晴らしいと感じた。

高校の配置や存続等について、県で様々な方向性が議論等されている昨今であるが、歴史ある高校として、これからも「中条高校らしさ」を携えていただき、地域とともに発展していくことを願う場となった。